



平成26年6月26日

## 汎アフリカ大学院と協働する 資源植物科学イノベーション研究拠点が始動

岡山大学資源植物科学研究所(植物研)は、全国共同研究拠点として「植物ストレス科学研究」のネットワーク作りを進めています。この度、日本学術振興会「研究拠点形成事業(アジア・アフリカ学術基盤形成型)(平成26-29年度)」に採択され、ケニアのジョモケニアッタ農工大学を中心とした汎アフリカ大学院との国際交流事業を始めることになりました。加えて、岡山大学の教員も支援委員となる国際協力機構(JICA)のプロジェクトも6月より開始されました。本学が拠点となり、有用な遺伝リソースや作物栽培技術、作物のストレス応答に関する世界有数の研究成果を生かして、食糧生産におけるアフリカ型イノベーションへの共同研究・人材交流を行います。

これらのプロジェクトには植物研および農学部の教員が協力して取り組みます。

### 【プログラム】

日本学術振興会研究拠点形成事業(アジア・アフリカ学術基盤形成型)

「汎アフリカ大学院と協働する資源植物科学イノベーション研究拠点」

日本側コーディネーター：岡山大学資源植物科学研究所 教授 坂本 亘

期間：平成26～28年度

相手国側拠点機関：ケニア・ジョモケニアッタ農工大学

アフリカでは耕作に不向きな土壌地帯が多く、不適な栽培技術による病害多発等が頻発し、作物増収の大きな障害となり食糧不足も深刻化しつつあります。岡山大学は、1980年代にジョモケニアッタ農工大学の設立にも関わり、大学間交流協定による交流実績があります。これまでも大学院生・研究者の相互派遣により学位授与や、イネ栽培での共同研究を進めています。本プログラムでは、これまでの研究交流を更に発展させ、新たにアフリカ連合により設置された汎アフリカ大学院と連携しながら、東アフリカで利用可能な作物と栽培法の確立を目指します。

### 【今年度の交流と共同研究予定(別紙参照)】

- ・ケニア側研究者の受け入れ(7-11月、5名を予定、岡山大学大学院進学者2名予定)
- ・ケニアでのシンポジウム開催(11月13-14日、参加規模300名程度、岡山大学から9名参加(学長参加予定)、ウガンダマケレレ大学から研究者を招へい予定)
- ・低肥料要求性ケニアイネ品種の育種と育成(栽培試験)
- ・多収性ソルガムの育成に関する共同研究
- ・微生物を利用した作物生産性向上に関する共同研究

### ＜お問い合わせ先＞

岡山大学資源植物科学研究所

教授 坂本 亘

(電話番号) 086-434-1206

(FAX番号) 086-434-1206